

# 「文字を読む基礎学習」

～ 文字学習 導入期の指導 ～

「単語構成」による学習法

第5回夏季セミナーが8月27日（土）に越谷市中央市民会館（埼玉県越谷市）で行われました。今回のセミナーのテーマは「文字を読む基礎学習」です。

初めに講師の宮城武久（つばき教育研究所理事長）から学習の系統性（初期学習・基礎学習・記号操作の学習）について説明がありました。「文字学習に入るためには、目の使い方が上手になり、細かい違いがわかるようになるための系統的な学習が必要である。」という話がありました。

次に文字学習についての説明と演習が行われました。文字が読めるようになり、単語を読んで意味がわかるようになるには「単語構成」による学習法が最適です。文字カードと単語構成板を用いて学習法を学びました。演習は二人一組で行い、教材の呈示の仕方、ことばかけ、褒め方、補助の仕方等を学習しました。



以下は参加された方々の感想です。

文字が覚えられなかったり、読めても意味がわからなかったりした時、どのように教えたらいいのかわからず悩んでいました。

セミナーに参加し具体的な教え方を学ぶことができました。

また演習を通し自分のことばかけが子どもを混乱させていたことに気がつきました。

ありがとうございました。

特別支援学校教諭

本や冊子でつばき教育研究所の文字学習の学習法を知り、興味を持ちました。細かいステップを実際に演習形式で行うことにより、本で読んでいたことがとても良くわかりました。

子どもの目を見て呈示すること、褒めることの大切さも知ることができました。練習を重ね新学期から実践したいと思います。

特別支援学級教諭